

2022年度 藤田医科大学ばんだね病院における職員の負担軽減及び処遇改善の取り組みについて

◆負担軽減に資する計画

担当部署	項目	これまでの取り組み	現状	2022年度の計画・目標
看護部	看護師の業務範囲の拡大 (特定看護師・認定看護師を含む)	現行制度の下で看護師の業務として拡大が可能な範囲の確認を行い、それらを実施した場合の質保証の仕組みについて検討してきた	手技に応じて、ICUや4F病棟で教育を始めている。またこれらの手技を確実に実施できる看護師を「業務認定」として管理していく。 特定看護師の活動体制の構築に取り組んでいる。	少なくとも下記の業務の体制整備を進めていく。 ・動脈ラインの抜去 ・CVポート穿刺および抜去 ・死亡患者のCVラインの抜去 ・診察前の情報収集 など 特定看護師が修得した行為の実践の場を拡大していく。
看護部	入退院予定・病床稼働状況の可視化	3日先までの病床稼働状況について、看護部長室と各病棟をGoogleを利用して情報共有している。その結果をアラート表示することで、ベッドコントロールの簡便化に取り組んでいる	入退院の予測は、平日は1日2回実施しており、入退院支援室、ER、各病棟・外来が協力し、ERや外来における入院待機時間の短縮に取り組んでいる。	入退院の予測精度を向上させ、緊急入院時の待機時間短縮に貢献する。あわせて、より計画的に治療や検査が進められるようにベッドコントロールを行う。
看護部	クリニカルパス使用率の上昇	クリニカルパスの作成や修正は、委員会および各診療科や部署が担っており、適切なクリニカルパスが使用されているかの評価や改善になかなか至らなかった。	使用している電子パス、紙パスについて、新規作成・修正・削除作業を進めている。	DPC期間との整合性を評価し、適切なクリニカルパスの整備を進めることで、使用率向上を目指す。
臨床工学部	透析用カテーテル挿入時の介助	透析室で透析用カテーテルを挿入する場合、医師や看護師が介助業務を行っている。	昨年度、カテーテル挿入時のサインイン、タイムアウト等のシートを作成した。必要物品リスト、配置図を追記し、どの職種が行っても同様の介助を行えるようマニュアル化を進める。	透析室で透析用カテーテルを挿入する際、医師、看護師に代わり、介助業務に臨床工学技士が携わり、エコー準備、物品準備、器械出しを行い、医師、看護師の負担軽減を図る。
臨床工学部	外来透析患者定期検査の代行入力	外来透析患者の定期検査のオーダーは担当医師が前月に入力を行っている。		外来透析患者の場合年間、月毎に透析時の定期検査内容があらかじめ決定しているため、臨床工学技士が代行入力し医師の負担軽減を図る。 入院透析患者の検査、外来透析患者の定期外の検査については、これまで通り医師が入力を行う。
リハビリテーション部	・リハビリに関する各書類の記載・説明・書類交付 ・ADL評価 ・高次脳機能障害、失語症、言語発達障害、発達障害等の評価に必要な臨床心理・神経心理学検査項目の実施等 ・嚥下機能評価 ・診断書の計測	・リハビリ計画書の作成、患者への説明、交付 ・リハビリ処方内容の代行入力 ・嚥下訓練・摂食機能療法における患者の嚥下状態等に応じた食物形態等の選択	・リハビリ計画書の記載・説明・交付をおこなっている ・各評価においては理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が必要項目において実施している。 ・各診断書の身体機能の評価も各科からの依頼に合わせて評価を行っている。 ・医師の指示のもとリハビリ処方の修正など代行入力を行なっている	現状の継続 リハビリ実施単位数を減らさないよう実施していく。

2022年度 藤田医科大学ばんだね病院における職員の負担軽減及び処遇改善の取り組みについて

◆負担軽減に資する計画

担当部署	項目	これまでの取り組み	現状	2022年度の計画・目標
臨床検査部	超音波検査領域における診療支援		現状では婦人科、体表領域は技師で行っているが、循環器では一部、腹部領域では半数以上が医師が超音波を実施している。	腹部、循環器、体表領域の超音波検査において、藤田医科大学病院臨床検査部のサポートを受け、3病院間で育成の仕組みを構築するとともに、現在診療科医師が実施している超音波検査を、臨床検査技師による実施へと段階的に移行する。
臨床検査部	輸血検査の代行入力。	医師以外の関係職種で可能な限り業務分担を行っていた。「業務移管(タスク・シフティング)」について、これまで採血は臨床検査部において早期病棟採血や外来採血を一括して実施しております。超音波検査では婦人科、循環器領域、体表領域で行ってきました。超音波検査以外では術中モニタリング、PSG検査なども行っていました。	4月より技師の代行入力が可能となり、輸血後の感染症の入力を言い始めた。	輸血による感染か否かを確認するための輸血前検査代行入力作業を行う。輸血後の副作用入力漏れのチェックを行う。
臨床検査部	ERにおける検査関連業務支援			ERへの常駐を最終目標として、常駐のためのパイロットスタディを実施する。具体的には、まず期間および時間限定で出向させ、サーフロー穿刺および採血、血液ガス測定、コードストローク対応などが可能かを検討する。また、代行入力が可能になったことから、医師がベッドサイドで実施した検査の代行入力についても検討する。
放射線部	放射線科医の読影業務に対する情報提供	検査後の画像を可及的速やかにサーバーへ転送している。	体表へのマーキング材料が絞り込まれたため、ファントム等を撮影し画像への影響を検証している状態。	画像の速やかな転送に加え、依頼内容により病状把握が困難な場合があるため、検査担当技師が、知り得た疼痛部位や違和感のある部位にマーキングをすることで、読影業務の効率化を図る。
放射線部	撮影内容に準じたオーダー変更業務の代行	時間指定の無い病棟撮影とCT検査が同一日にある場合や、患者が訴える部位とオーダー内容が異なる場合等は、医師に確認し正確なオーダーが立てられるまで待ち、その後業務を実施している。	オーダー変更についてタスクシフトする範囲や内容を役職者で検討している状態。	撮影オーダー内容と実際の検査種や検査方法が異なる場合、依頼医に確認したうえで、診療放射線技師により業務内容に適したオーダー変更を行える様にする。
放射線部	放射線レポートにおける重要レポートの報告補佐	重要な画像所見については、放射線科読影医が依頼医の医療用携帯に連絡している。	事例検討会を踏まえ、放射線科読影医と関係部署との間で、運用の詳細を検討している状態。	重要なCT、MRI検査レポートについて、必ず主治医に確認して貰う流れを構築しレポートの見落としの無い様にする。
薬剤部	病棟への薬剤師配置	全病棟に薬剤師を配置し、患者への服薬指導、持参薬の確認と代行入力、定期内服薬のセット、薬品の管理を行っている。	病棟担当薬剤師13名 担当薬剤師が半日以上業務できる体制。	病棟担当者を4名増員し、常時薬剤師1名が担当病棟で業務できる体制を確立させる。病棟での薬剤管理、患者への服薬指導の業務を拡大させる。
薬剤部	処方箋の代行入力	持参薬、内・外用薬の修正・削除の代行入力を行っている。	持参薬、内・外用薬の代行入力のみ実施している。	新たに代行入力の権限を取得し、注射薬の処方箋修正・代行入力を実施する。
薬剤部	薬剤師外来の実施	がん化学療法についての研修を開始。 外来腫瘍化学療法診療料1、連携充実加算の算定開始。	薬剤師外来実施に向けて担当者を研修中。	がん化学療法を受ける患者に対する薬剤師外来の実施。

2022年度 藤田医科大学ばんなね病院における職員の負担軽減及び処遇改善の取り組みについて

◆負担軽減に資する計画

担当部署	項目	これまでの取り組み	現状	2022年度の計画・目標
人事課	育児と仕事の両立の支援	2021年度より学園でベビーシッター制度の導入にいたる	ベビーシッター制度を学園全体で33回の利用実績があった。	子育て支援について近隣の病児保育施設に関する案内や気象警報発令時の育児預かりに関する施設や体制を整えていきたい。
人事部	人材の確保	事務・コメディカルの中途採用の促進。	中途採用サイトへの募集掲載や紹介予定派遣を利用して事務員を増やそうと活動中。	医師の負担軽減に必要な人員数を確保するべく中途採用活動を行う。
医療情報システム部	他部署からの提案に対するシステム対応の検討・支援	・医事課の医師作業補助者の代行入力対応 ・診断書作成支援システムによる医師と医師作業補助者の連絡の簡易化・内容確認の簡素化	医師がオーダー等を行う必要が生じるものに関し、現在は限られた業務を看護師や医師事務作業保持者が代行入力等を行っている。	今回提案される各部署の要望について、システムの提案・対応を行う。
食養部	栄養指導依頼入力	入院患者の低栄養予防の栄養指導依頼入力については、了承を得た医師に限り管理栄養士による代行入力を実施している。その他の病態の栄養指導依頼については、連絡があれば管理栄養士が入力を行っている。	栄養指導入力方法が分からない、栄養指導入力の手間であるという医師からのご意見をいただく。栄養指導依頼入力方法や代行での入力の依頼についての周知がされていない。外来患者で初回の場合は日程調整がある為、代行入力は難しい。	新しく赴任された医師へ入院患者の低栄養予防の栄養指導の代行入力の了承を得ると共に、病態栄養指導依頼を食養部に連絡することで管理栄養士が入力可能であることの周知を図る。
医事課	医師の事務作業代行	<p>【医師事務作業補助者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種診断書、意見書の作成 診療代行入力業務(脳外科) 紹介状作成補助業務 手術伝票入力業務 予約問い合わせ対応、変更入力 JNDデータベース入力 NCD(脳神経外科、形成外科) 文書スキャン(病棟・救急) 画像CD-R取り込み、作成 入院時のDPC病名代行入力(外科・脳神経外科) <p>【診療記録管理室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師DPC登録後の変更・修正・修正病名の登録 退院時DPC登録(退院先・転帰) 退院サマリーの修正(病名・手術・記載期間違い) 全国がん登録 <p>【入院、外来】</p> <ul style="list-style-type: none"> DPC病名の処置、手術等分岐選択 DPC様式1 PCR、総合健診科オーダー入力 電子カルテオーダー画面の構築(指導料、処置) 	<p>【実施済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 難病医療申請書の継続分入力補助(内科) 生保医療要否意見書新規依頼分の対応 介護主治医意見書新規依頼分の対応 入院時のDPC病名代行入力(外科・脳神経外科) <p>【7月より実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> NCD(外科)入力補助 <p>【今後検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> NCD補助範囲の拡大 サマリ代行作成(即転科分) クラークの導入要否の検討(役割、人員、運用、環境等) 	<p>既存業務の維持継続、人員確保した上で以下の新規業務開始。</p> <p>【新規業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 難病医療申請書の継続分入力補助(内科) 生保医療要否意見書新規依頼分の対応 介護主治医意見書新規依頼分の対応 入院時のDPC病名代行入力(外科・脳神経外科) NCD(外科)入力補助 サマリ代行作成(即転科分) クラークの導入要否の検討(役割、人員、運用、環境等)